平成27年度

第1回 阿賀野市入札監視委員会

平成27年10月7日(水)

阿賀野市総務部管財課

平成27年度 第1回阿賀野市入札監視委員会 会議録

- 1 日 時 平成27年10月7日(水) 午後2時～午後3時30分
- 2 場 所 阿賀野市役所 402会議室
- 3 委 員
入札監視委員(出席) 阿部和久、小熊正彦、磯部 亘、佐藤孝二郎、本間康子
- 4 傍聴者 3名(報道機関)
- 5 議 事
開 会
委員長あいさつ

議題

- (1) 期間内の発注状況等報告
- (2) 抽出案件の審議

【抽出案件】

制限付一般競争入札 (A) 【2件】

No.	工事名	工事種別	請負業者	当初契約金額(単位:円)	落札率	発注課	入札参加者数
A-2	新病院厨房機器設置工事	管	安田設備工業(株)	85,860,000	99.38%	地域医療推進課	5
A-5	水原公民館耐震補強・大規模改修(建築本体)工事	建築	田中・小林・宇尾野特定共同企業体	262,116,000	97.88%	生涯学習課	4
A-8	水原総合体育館耐震補強・大規模改修(建築本体)工事	建築	坂詰・安田・ライズビルド特定共同企業体	412,560,000	97.88%	生涯学習課	4

通常指名競争入札 (C) 【2件】

No.	工事名	工事種別	請負業者	当初契約金額(単位:円)	落札率	発注課	入札参加者数
C-11	山手小学校耐震第2次診断・補強設計等業務委託	コンサルタント	(株)池田設計	5,832,000	56.21%	学校教育課	10

随意契約 (D) 【1件】

No.	工事名	工事種別	請負業者	当初契約金額(単位:円)	落札率	発注課	見積業者数
D-8	阿賀野市ふれあい会館吸収式冷温水発生器部品交換修理	管	菱機工業(株)新潟支店	3,223,390	100.00%	生涯学習課	3

14:00

開会あいさつ（管財課長）

委員長あいさつ

議題1 期間内の発注状況等報告

事務局

期間内の発注状況等を報告

～質問・意見～

委員

発注方式別工事等一覧の指名競争入札で、不落が3件あるが、最近の傾向で不調不落が多いという話を聞くが、3件というのはい多いほうなのか。際立って多いということはないと考えるが、事務局としては、どう解釈しているか。

事務局

不調不落については、一昨年以前は建築工事などで全国的に発生していたが、最近では品確法の改正により、適正利潤の確保という観点から設計も適正単価で行なっているため、少なくなっている。今期について、不落が数件あったが、発注者である市のほうに積算ミスがあり、結果的に業者の不落を出させてしまった。

委員

それでは、逆に言えば、積算ミスがなければ適性に行なわれていたということであればよろしい。

議題2 抽出案件の審議

委員長

今回審議事案を抽出された委員より抽出理由についてご説明を求める。

抽出委員

A-2 新病院厨房機器設置工事

一般競争入札の中で一番落札率が高かったため抽出した。

A-5 水原公民館耐震補強・大規模改修（建築本体）工事

A-8 水原総合体育館耐震補強・大規模改修（建築本体）工事

この2件は、工事場所が違うだけで内容がほぼ同じなので、比較したい。まず、落札率が97.88%と全く同じである。参加者数も4企業体ずつで同じである。どちらの4企業体とも同じ構成員なのか、また、落札率が全く同じなのは何か意味があるのか聞きたい。

C-11 山手小学校耐震第2次診断・補強設計等業務委託

指名業者数が10者と多いことと、落札率が56.21%と低いのが目立っていたため抽出した。

D-11 阿賀野市ふれあい会館吸収式冷温水発生器部品交換修理

選定業者が3者であったこと（他はすべて1者）と、落札率が100%であったため抽出した。

抽出1 新病院厨房機器設置工事

事務局

A-2 新病院厨房機器設置工事の契約までの経過を説明

抽出理由について説明

この案件の工事については、設計をコンサルタントに委託している。又、工事内容は機器の購入が大きなウエイトを占めており、純粋な工事費の占める割合は少ない。設計者は機器メーカーから見積もりをとり、その中で有利な価格を設計価格に盛り込んでいく。今回はその見積もり価格が実勢価格に近い価格であったために応札額と近い価格になり、結果高落札率となったと推測する。

しかし、あくまでも入札価格は業者が決めてくるものなので、推測論であることは理解いただきたい。

～質問・意見～

委員

5者中4者が予定価格を超過し、その応札額が落札価格と比べるとかなり離れている。実態に近い落札額とそれに比べて4者はかなり超過していることが、先ほどの事務局説明と整合性がとれていないと感じる。事後調査はしていないと言われたが、事務局としての考えは。

事務局

推測できることは、各業者の仕入れ価格に差があるのではないかと。仕入先や仕入れ方法は、工事受注量が多いことや慣れている業者が有利であると一般的に考えられる。

委員

入札参加資格でAランクに加えてBランクも入れたと説明にあったが、実際の応札者のランク内訳は。

事務局

Aランクが4者で、Bランクが1者である。

委員

予定価格超過した4者の中にAランクもいるのであれば、ランクは関係していない。厳しい見方をすると、応札額に不自然な印象があり、今後はこのような場合、可能な限り原因を調べてほしい。

事務局

付け加えるが、この案件については内訳書をもらっており、応札業者それぞれに適正な積算であることは確認している。

抽出2 水原公民館耐震補強・大規模改修（建築本体）工事

抽出3 水原総合体育館耐震補強・大規模改修（建築本体）工事

事務局

案件抽出理由が、抽出2と抽出3を比較したいとのことだったので、A-5水原公民館耐震補強・大規模改修（建築本体）工事とA-8水原総合体育館耐震補強・大規模改修（建築本体）工事の契約までの経過を続けて説明。

抽出理由について説明

落札率については偶然の一致である。金額も設計内容も全く異なったものである。参加者は、どちらも4JVであったが、資格要件は異なっている。公民館の方は、建物本体建築時の施工業者を参加範囲に入れて、市内に従たる営業所を有する者を加えた。結果的に4JVずつの参加となった。

～質問・意見～

委員

両案件とも難易度の高さからJVの活用をしたとの説明であったが、入札参加4JV中3JVは同じ構成員で、公民館、体育館両方とも参加している。

結果的にはそれぞれ違うJVが受注したが、難易度が高く、しかも同じ工期の工事を万が一にも同じJVが落札した場合、何か問題はないのか。

事務局

施工可能ということで手を上げてきたのだろうと解釈している。

委員

案件2について、これも応札額が4者中3者予定価格を超過しているが、案件1のように金額の差はあまりなく、4者とも似かよった金額である。この状況で落札率が97.9%と高くなったのは、予定価格自体が厳しい設定だったのではないか。

説明補助員

積算については業務委託を行い、前年度の積算である。水原公民館、水原体育館とも同じ設計業者が請け負ったが、実際設計に携わったのはそれぞれ別の技師であった。意匠をもとに設計を行なうが、技師によっては多少厳しい設計、ゆるい設計というものはあることである。推測ではあるが、そうした設計の多少の差異が予定価格にあらわれたのではないか。

事務局

予定価格があまりにも実勢価格に近いというとり方もできる。それについては、現在もまだ建設資材の高騰が続いているのが実情で、設計から入札までに間に資材単価が上がったため、応札額が高くなり、結果落札率も高くなったのではないか。

委員

予定価格設定の制度自体で、ある程度将来予測もみながら、すなわち実際に発注する時期をみながら価格設定できれば、より精度の高いものになるのではないか。

事務局

言われるように、スライド制が設計に反映できればベストなのだろうが、実際には難しいところである。

委員

高額な案件であるが、落札日が2件同じ日である。また工期も全く同じであり、多少ずらして発注するようなことは考えなかったのか。

事務局

入札日が同じであったということについては、両案件が議会承認案件であったため、議会日程に間に合うように同じ日程にした。

委員

入札日程は違わせた方がよいのではないか。

事務局

そういう考えもあると思うが、今回は、両方ともほとんど同じ参加条件であったため、同じ業者が来るだろうと予測して同じ入札日にした。

抽出4 山手小学校耐震第2次診断・補強設計等業務委託

事務局

C-11 山手小学校耐震第2次診断・補強設計等業務委託の契約までの経過を説明
抽出理由についての説明

低い落札率について、現在コンサルタント業務は全国的にみても非常に厳しい受注競争となっている。発注件数自体が減る中で、入札制度も指名入札よりも一般競争入札が増え、価格競争が更に激しくなっている。この案件についてもそれが現れていると考える。

市としては、このまま低落札率が続くようになると、業務の品質に影響が及びかねないと考え、冒頭にもあったが、設計業務委託の制限価格制度適用の準備を進めていきたいと考えている。

～質問・意見～

委員

今回落札した業者の落札額は、やはり目立って低く、一番高い応札額の3分の1となっている。また、発注方式別一覧表をみると、同じ業者が他にも低落札率で契約しているものがあるが、同じ業者が同じ状況で複数契約しているのはなぜか。

事務局

この抽出案件、また、一覧表の案件どちらも、元々の建築設計を請負ったのが今回落札した業者であり、中身をよく知っているというのが価格を下げられる要因になっているのではないかと考える。

委員

設計業務委託については、説明のとおりどこでも落札率が低く、以前から問題になっていた。制限価格制度適用については、是非その方向で検討してほしい。業務委託の場合、金額を下げるとなると人件費の部分はかなり圧縮して出してくるのだと思うが、それは適切ではない。しっかりとした技術を持った人が設計にあたるというのが前提であるので、特に人件費の部分で適正な価格で契約することが重要である。

抽出5 阿賀野市ふれあい会館吸収式冷温水発生器部品交換修理

事務局

D-11 阿賀野市ふれあい会館吸収式冷温水発生器部品交換修理の契約までの経過を説明

抽出理由についての説明

事務局

予定価格比100%の契約となったのはなぜかということについては、見積もりを1者限定で徴集し設計、積算したためであると考え。例え緊急の修繕工事であっても、2者以上から徴するというのが本来であるので、今後はできる限り複数者から見積もりをとって設計額に反映させていきたい。

～質問・意見～

委員

なぜこの3者を選定したのか。

事務局

同規模の設備点検業者で、地理的にも受注可能であると判断した。

説明補助員

緊急の修繕工事であり、現在維持管理している業者から見積もりをとり予定価格設定、3者見積もりとしたが、予定価格設定時の見積もり業者が一番低額となり契約に至った経緯を再度説明。

委員

それならば、はじめから1者随契でいいのではないか。

事務局

なぜ複数者から見積もりを徴すべきかについては、1者見積もりで業者の言いなりになるのが一番怖い。適正価格をどこで判断するかについては、やはり同業者から複数の見積もりをとり、比較して判断することが必要である。

委員

1者随契にしても、他の業者から相見積もりを徴して参考値とすることはできないのか。

事務局

随意契約を行なうときは2者以上から見積もりを徴するという財務規則に則って契約事務を進めるべきと考える。

委員

一方では複数者からといいながら、当初見積もりをとったのは1者からで、結局それが予定価格として決まったという今回の説明には、やはりちぐはぐさを感じる。今後については、先ほどの説明のとおり可能な限り複数者からの見積もりにより適正な予定価格の設定に努めてほしい。

～質問・意見～

他になし

委員長

以上で抽出案件の審議を終了します。
事務局から報告事項等ありますか。

4 その他 委員の選任について

事務局

委員の任期が平成28年1月31日で終了する。次回の委員会開催が平成28年2月の予定なので、実質本日が最後の定例会となる。任期満了ということで、次期委員の選任については「阿賀野市附属機関等の委員の選任に関する指針」に基づいて行うこととなるが、再任の依頼があった際は是非承諾いただきたい。

委員長

以上で、予定していた議事はすべて終了しました。
これで平成27年度第1回の阿賀野市入札監視委員会を終わります。
ありがとうございました。

閉会 15 : 30